

# 公会堂だより 7-8月号

発行 岩手県公会堂指定管理者 希望橋グループ

## ～6月に催されたイベントの様子をご紹介します～

### 工の会展



### すすまごゆきこ絵画展



### 厚谷淑恵 絵画展



岩手県立不来方高等学校 音楽部  
父の日コンサート



### 岩手県立不来方高等学校 工芸部展



この他、大ホール・ギャラリー・  
各会議室で様々な催事が行われ、  
多くの方々にご来館いただきました。

※掲載の写真は主催者・出展者様より許可を  
頂いております。

## ～新型コロナウイルス感染予防対策の取り組みについて～

公会堂では感染予防対策に取り組んでおります。対策の概要は次の通りです。ご利用者の皆さまにも、ご協力・ご理解のほどをお願いいたします。

- ① マスクの着用、手指消毒や三密回避などの感染予防対策は引き続き必要となります。
- ② 「机、椅子、ドアノブ、照明スイッチ、鍵等」のアルコール消毒と換気等の実施をしております。
- ③ ご利用の皆様への「マスクの着用」・「手指の消毒」・「こまめな手洗い」・「部屋利用中の換気」の依頼をしております。

# 公会堂で行われたことを紐解くコーナー

## ～岩手美術研究所～

昭和 22 年、戦後の混乱期の最中、岩手県公会堂の地下室に「岩手美術研究所」が誕生しました。この美術研究所には、美術を志す若い人たちが多く集まり、美術評論家の森口多里や美術家の五味清吉、橋本八百二、深沢省三・紅子夫妻、船越保武ら第一線の美術家が指導にあたりました。

当時は、石膏像をはじめとした美術の備品類が乏しく、また暖房も整備されていない中での活動は様々な苦勞が伴いましたが、夕方になると多くの青年男女が公会堂に集まり熱心に活動が行われました。

公会堂で行われた美術教育は、やがて、岩手県立美術工芸学校、盛岡短大美術工芸科、岩手大学学芸学部特設美術科へと発展的に引き継がれてゆきました。岩手美術研究所は、本県の美術界におけるルネサンスの役割を担ったものと言われたそうです。

お知らせ

## 定員数変更と Wi-Fi ルーターの貸出しのお知らせ

新型コロナウイルス感染防止対策のため、大ホールと会議室の利用人員を制限させていただいておりましたが、イベントの開催制限が緩和されてきたことを踏まえ、令和 4 年 6 月 1 日より「大声が伴わない」ことを前提に下記の通り変更させていただきます。

名称	定員数	名称	定員数
大ホール	839名	21号室	72名
11号室	24名	22号室	18名
12号室	24名	23号室	12名
13号室	12名	24号室	12名
14号室	24名	25号室	12名
15号室	30名	26号室	117名
16号室	18名	応接室	6名
17号室	18名	特別室	18名
18号室	12名		

また、お客様サービスの一環として、Wi-Fi ルーターの貸出（1 台・予約先着順）を行っております。詳細は岩手県公会堂事務室までお問い合わせください。

WEB サイト、facebook で最新情報をご覧ください



WEB



facebook

<http://iwate-kokaido.jp/>

<https://ja-jp.facebook.com/iwatekenkokaido/>

Mail [info@iwate-kokaido.jp](mailto:info@iwate-kokaido.jp)

岩手県公会堂 公会堂だより NO.32

発行日 令和 4 年 7 月 1 日

発行 岩手県公会堂

指定管理者 希望橋グループ

〒020-0023 盛岡市内丸 11-2

TEL 019-623-4681 FAX 019-623-4682